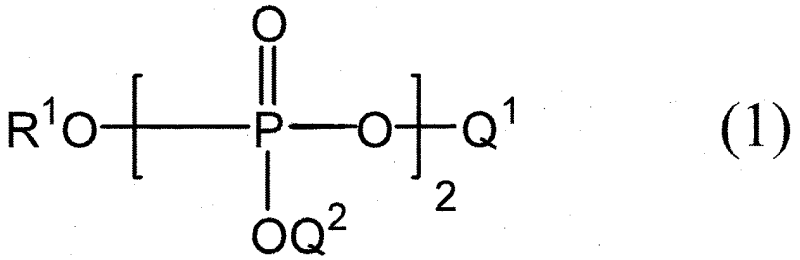
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】令和6年1月10日(2024.1.10)

【国際公開番号】WO2023/149326
【出願番号】特願2023-567222(P2023-567222)
【国際特許分類】
Ｄ０６Ｍ 13/292(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０６Ｍ 13/292

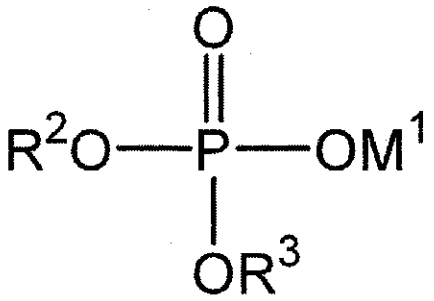
【手続補正書】
【提出日】令和5年11月1日(2023.11.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記一般式（１）で示される化合物（Ａ）、下記一般式（２）で示される化合物（Ｂ）、下記一般式（３）で示される化合物（Ｃ）及び無機燐酸塩（ＩＮ）から選ばれる少なくとも１種を含む不織布製造用繊維処理剤であって、前記化合物（Ａ）、前記化合物（Ｂ）及び前記化合物（Ｃ）を必須に含み、
処理剤の不揮発分に対して、前記化合物（Ａ）、前記化合物（Ｂ）、前記化合物（Ｃ）及び前記無機燐酸塩（ＩＮ）の合計重量割合が８０～１００重量％であり、
前記化合物（Ａ）、前記化合物（Ｂ）、前記化合物（Ｃ）及び前記無機燐酸塩（ＩＮ）のそれぞれに帰属されるＰ核ＮＭＲ積分値の合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋ＩＮ）に対して、前記化合物（Ａ）に帰属されるＰ核ＮＭＲ積分値（Ａ）の比率〔Ａ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋ＩＮ）〕が２０～５０％、前記化合物（Ｂ）に帰属されるＰ核ＮＭＲ積分値（Ｂ）の比率〔Ｂ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋ＩＮ）〕が２０～５０％、前記化合物（Ｃ）に帰属されるＰ核ＮＭＲ積分値（Ｃ）の比率〔Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋ＩＮ）〕が２０～５０％であり、
前記処理剤の不揮発分の酸価（ＫＯＨｍｇ／ｇ）が１００未満である、
不織布製造用繊維処理剤。
【化１】



(1)

（式（１）中、R^1は直鎖の炭素数１２のアルキル基、Q^1は、直鎖の炭素数１２のアルキル基、アルカリ金属又は水素原子を示す。Q^2は、水素原子又はアルカリ金属を示す。２つのQ^2はそれぞれ同一であっても異なっていてもよい。）

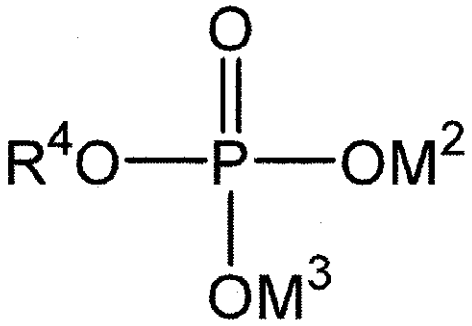
【化２】



(2)

（式（２）中、R^2及びR^3は直鎖の炭素数１２のアルキル基、M^1は、水素原子又はアルカリ金属を示す。）

【化３】



(3)

（式（３）中、R^4は直鎖の炭素数１２のアルキル基、M^2及びM^3は、それぞれ独立して、水素原子又はアルカリ金属を示す。）

【請求項２】

前記処理剤の不揮発分の１％濃度水溶液のｐＨが６～８である、請求項１に記載の不織布製造用繊維処理剤。

【請求項３】

前記処理剤の不揮発分に占める防腐剤の重量割合が１００ｐｐｍ以下である、請求項１又は２に記載の不織布製造用繊維処理剤。

【請求項４】

原料繊維に対して、請求項１又は２に記載の不織布製造用繊維処理剤が付着してなる、短繊維。